

## 当世鳴く虫事情 きんひばり 2021 の活動

吉田 滋弘 (人博連携グループ 鳴く虫研究会 きんひばり)

### 1. はじめに

鳴く虫とは昆虫の分野で「直翅類」のことです。

鳴く虫を聞くのは、その気さえあれば誰でも手軽に楽しめて、かつ奥が深い分野です。しかもその音色に美しさと儂（はかな）さを感じ取れるのは日本人の美点です。

鳴く虫は日本の文化のひとつと言っても過言ではないでしょう。

鳴く虫研究会「きんひばり」は2003年から自らの聞く力を伸ばしたり、研究を行ったりしていますが、近年では普及活動に力を入れています。



写真1 初夏に水辺で鳴くキンヒバリ

### 2. 2021年度の普及活動

- (1) 8/7 兵庫県立有馬富士公園 夏の虫中心 10名の参加
- (2) 9/4 人と自然の博物館 13名の参加で深田公園で開催
- (3) 9/11 国営あいな里山公園 24節季の白露の期間中 25名の参加

### 3. 当世鳴く虫事情

#### (1) 駿河竹千筋細工の虫籠

あいなで展示したもので、会員の西浦さんから借用したもの。竹細工で扉の開閉が可能です。



図2 千筋細工の虫籠

#### (2) キーナの里の鳴く虫の広場

あいなと接している神戸のキーナの森で期間限定で設定された鳴く虫の広場の設定に一部協力できました。



図3 キーナの森 鳴く虫の広場



図4 閻魔さんの像

#### (3) 通じなくなる言葉

日本人の鳴く虫への感情を世界に紹介した「小泉八雲」やエンマコオロギの語源になった「閻魔さん」が通じなくなりつつあります。